

## 読者からの質問「不妊治療の最先端医療」についてお答えいただきます

**Q** 妊娠のしくみを学ぶ  
読者からの質問の中から  
「不妊治療夫婦の親御さんができること②」についてお答えします。

**Q** 結婚5年目、34歳夫婦の夫の母です。「結婚すれば、子どもは自然と授かるもの」と私たち夫婦も嫁の親御さんも思っていました。しかしながら、なかなか授かりません。現在不妊治療を始めて2年、未だ妊娠に至っておりません。息子には兄妹が2人おりますが、すでにどちらも2人ずつ子どもを授かっております。年に1度、親族一同が子どもを連れて集まる日もありますし、息子夫婦とも月に1度は会食もしています。その際、子どものいないお嫁さんにどう接していいのか悩んでいます。どうすれば良いのでしょうか。

**A** 近年は、「子無きは去れ」というような風潮はほとんど無くなっています。ご両親もしっかり現実と向き合い、出来る限りのサポートをしてあげることが大切です。

①不妊原因が夫にある場合(精子減少症や精子無力症、無精子症など)は、お嫁さんやそのご両親に申し訳ない気持ちが出てくるでしょうが、まずは息子さん夫婦と子に対する真意をしっかりと話し合ってください。「もし子どもができないこと

### 【取材協力】



小埜 清 小ばなわ きよし 先生  
医療法人 小埜医院  
つくばARTクリニック 理事長

昭和46年茨城県立水戸第一高等学校卒業、昭和52年北里大学医学部卒業、同医学部産婦人科教室に入局。53年慶応大学医学部産婦人科教室を経て、57年オーストラリア・モナッシュ大学で不妊症を研究。60年慶応大学医学部産婦人科教室 飯塚理八教授のもとで人工授精、体外受精のための精子調整法、パーコール法などについて研究。現在、不妊症治療、「新酸・アルカリ法」による男女生み分け治療のほか、ホルモン補充治療法(HRT)や漢方を用いた更年期障害の治療にも研鑽を積んでいる。

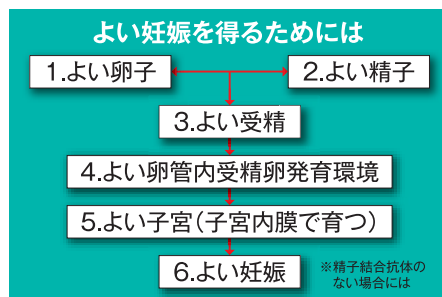


【著書】  
●「男の子と女の子を産み分ける」(新星出版社)  
●「男性不妊を治す」(新星出版社)  
●「更年期とのつきあいかた」(新星出版社)  
【ビデオ】  
●「いのち」(当院オリジナル版)

があってもそれは仕方ない、夫婦2人で生きていく」というのであれば、それ以上は何も言うべきではないでしょう。どうしても子を授かりたいという気持ちがあるならば、息子さんに対して最先端治療を受けるための金銭面サポートも考えられます。無精子症に対しては、精管や精巣から精子を吸引する手術があります。助成金も出るようになりましたが、高コストがかかります。前号でお話ししたような「結婚・子育て資金の一括贈与」という制度もありますので、ぜひ有効活用していただければと思います。

②不妊原因が妻にある場合。前述したように、夫婦に子に対する真意を聞き、必要であれば治療費の金銭サポートを考えてあげてください。精神面では、できるだけ普通に接し、子どもの話題を出さないようにしてください。例えば、兄妹の子が集まったとき「子どもなんて、大変だから居ない方が良くないかなど否定的なことも言うべきではありません。同情がましいことも言うてはなりません。お嫁さんが子ども達を羨ましそうに見ている時も放っておいてあげてください。声を掛けてあげたくなるお気持ちもわかりますが、お嫁さんは自身の中で気持ちを消化しているのです。そして一番してはいけないことは、親が勝手に病院に相談に行くことです。実は意外と多くいらつしゃいます。主治医にこそ現状を聞くようなことは決してしないでください。プライバシーの守秘義務がありますから、医者としてもお応えすることは出来ません。聞きたいのなら、ご一緒に来てください。ご本人の意思を第一に尊重すべきで、親御さんの考えを述べることは極力避けてください。お嫁さんをもらったということとは、娘ができたよつなものです。それだけで素晴らしいことです。孫のことまで考えないように、心掛けてください。

不妊治療は、他の医療と違い、治る治らないと判断できない、確証の無い治療です。



子どもは授かりものとも言われていますが、不妊治療の進化には目を見張るものがありますから、しっかりと家族でサポートをしてあげてください。 ※次号も読者からの質問にお答えします。



医療法人  
**小埜医院**  
こばなわいん  
理事長 小埜 清  
〒311-3435 小美玉市田木谷169-3  
**0299-58-3185**  
<http://www.ivf-ibaraki.or.jp>  
Mail:kobanawa@ric.hi-ho.ne.jp

◆診療科目 産婦人科(不妊治療)  
内科  
小児科  
泌尿器科

◆診療時間 月・火・木・金・土 9:00~17:00  
第2・4日 9:00~12:00

◆休診日 水曜・第1・3日曜・祝日

予約受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:30	○	○	休	○	○	○	△ 第1・3日曜
14:30~16:30	○	○	休	○	○	○	休

※初診の患者様については、午前中は11時まで、午後は16時までの受付となります。



車でご来院の方  
常磐自動車道「千代田石岡IC」から、国道6号線を水戸方面に向かい、「山王台」交差点を国道355号線へ右折。千代田石岡ICから約10kmです。

電車でご来院の方  
JR常磐線石岡駅からタクシーで約15分

休んだり、考えたりしても状況は変わりません。要領よく病院を利用して妊娠しましょう。